

年間第三十一主日

2013.11.3

ルカ 19・1-10

十一月の死者の月を迎え、今年もこうして祭壇の近くに掲げられた、皆様方からお寄せいただいた大切な方々のお名前に囲まれてこのミサをおささげしています。このように、目に見える形で祭壇の近くに亡くなられた方々のお名前をお飾りしてのミサは一年のうちで一回のことですが、私たちはミサの度ごとに、ここにお名前が掲げられている方々だけでなく、神のみもとに召され、神の永遠のいのちの中に迎え入れられた全ての方々とともに、私たちのいのちの与え主である神への感謝の祭儀としてのミサをおささげしているのです。

主日のミサの度ごとに、私たちは洗礼によって受け入れ信じているカトリック信者としての神への信仰を新たに宣言しています。その信仰に結ばれて、私たちはここに集って、私たちのいのちの源、全てのものの創造主である父なる神への感謝の祭儀としてのミサをおささげしているのです。この世に生きる私たちは、私たち人間が生み出す罪の世の苦しみの現実の中で、このミサに集って、今日の福音に語られているザアカイのように、私たちを神の子らとして生きる真のいのちに呼び戻してくださるイエス・キリストをお迎えしているのです。ザアカイの家にお泊まりくださったイエス・キリストがザアカイにもたらしにくださった、神の愛のいのちそのものである聖霊による新たないのちの世界に向けて私たちも歩みはじめたのです。私たちがこのミサの中で新たにする父と子と聖霊の神への信仰は、父と子と聖霊の神によって私たちの中に注がれている永遠のいのちを信じる信仰です。この世に生きる私たちは洗礼によってキリスト教の信仰に招き入れられ、イエス・キリストの十字架の死と復活を通して開かれた父と子と聖霊の神のいのちの中に迎え入れられて、信仰によってそのいのちの中に生きる者たちとされたのです。私たちがささげるミサは、イエス・キリストの十字架の死と復活を通して開かれた神の永遠のいのちに招き入れられたことを感謝する感謝の祭儀なのです。ミサとはそのようなものであることによって、この世に生きる私たちのささげるミサは、私たちのもとから神のみもとに召され、神の永遠のいのちの中に迎え入れられている全てのいのちと結ばれているのです。神のみもとにおける永遠のいのちの中に迎え入れられ

た全ての方々は、この地上で私たちがささげるミサが、その方々が神のみもとで味わっている至福の喜びに満たされた感謝の祭儀となるよう私たちと共にいて、私たちを励ましてくださっているのです。

父と子と聖霊の神を信じる信仰宣言に続いて、私たちは、聖なる普遍の教会、聖徒の交わり、からだの復活、永遠のいのち信じる信仰を宣言します。ここに、父と子と聖霊なる神が私たちが招きいれてくださったいのちの世界が広がっています。今日ここに集って私たちがささげているミサは、私たちが招きいれている聖なる普遍の教会の中でささげられるミサです。ここに集っている私たち一人ひとり今日の福音のザアカイのようです。ザアカイに声をかけてくださり、彼の家にお泊まりくださったイエスは、そうすることによって、徴税人であるザアカイを神の民の交わりの中に呼び戻してくださったのです。ここに集っている私たちは皆、「人の子は、失われたものを捜して救うために来たのである」と言われるイエス・キリストが呼んでくださったことによって、ザアカイと同じように、イエスを囲むこのミサに集っているのです。ここに集っている私たちは、お互い同士皆が互いによく知り合っているわけではありません。祭壇の前に掲げられているお名前の全ての方々と面識があったわけでもありません。私たちがささげるミサは、お互いに気心が通じ合った者たちの集いではありません。徴税人のザアカイにも声をかけてくださり、神の民の交わりの中に呼び戻してくださったイエス・キリストに招かれて、私たちはここに集っているのです。ここに、私たちが信じている普遍の教会、全ての人があるところに招かれている普遍の教会が広がっているのです。このミサの中で祭壇に掲げられている、なくなられた方々のお名前は、このミサこそが地上における聖徒の交わりであることを示しています。今日のミサの中で、私たちはここにお名前が掲げられている方々のために祈りをささげています。その祈りに結ばれて、この方々は復活の永遠のいのちの中におられる私たちの主イエス・キリスト共に、私たちの中にいてくださるのです。からだの復活、永遠のいのちを信じる聖徒の交わりである普遍の教会の中で、私たちがささげているこのミサにおいて、私たちは、復活の永遠のいのちの中に迎え入れられている全ての方がと結ばれて、私たちに永遠のいのちへの道を開いてくださった、私たちの救い主イエス・キリストの死と復活を記念するこのミサをおささげしているのです。

「ザアカイ急いで降りて来なさい。今日は、ぜひあなたの家に泊まりたい」と言われたイエス・キリストが、ザアカイにもたらしてくださった至福の喜び

が、同じイエスに声をかけていただき、ここに呼び集められている全ての私たちの中に広がってゆきますように。今や永遠のいのちの中に迎え入れられている全ての方々が今日の福音のザアカイと共に味わっている永遠のいのちにおける至福の喜びへの希望を新たにして、私たちもこのミサをおささげしたいと思います。

カトリック高円寺教会
主任司祭 吉池好高